

平成29年度 紙製容器包装再商品化製品引き取り同意書(選別事業者用) (様式4-1)

殿
(再生処理事業者名)

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
(必ず記入してください)

社名 _____
工場名 _____
工場所在地 〒 _____
工場責任者役職名 _____
工場責任者 _____ 印
(再商品化製品利用事業者)

担当部署 _____
担当者 _____
電話番号 _____
FAX番号 _____

当社は再生処理事業者 _____ が紙製容器包装を選別して製紙原料に再商品化し、その内容が当社の提示する品質規格を満足していることを確認の上、当該再商品化製品を引き取り、利用することに同意します。

必ず全てご記入ください

引き取り同意量	トン
引き取り時の荷姿の形態 引き取り可能な項目に○を付けてください	1. 圧縮梱包品(通常古紙ペール品) 2. 特殊な形態のペール品 (小さい寸法でプラスチックバンド締め等)
引取品の銘柄 紙製容器包装を引き取る際の、古紙の銘柄に○を付けてください	1. 紙製容器包装 2. 台紙 3. ポール 4. その他()
用途例 該当する項目に○を付けてください	1. 板紙 2. 段ポール原紙 3. その他()
再商品化製品利用事業者と再生処理事業者が同一事業者、又は同一のグループ企業で該当する項目にチェックをつけてください	<input type="checkbox"/> ある / <input type="checkbox"/> ない

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会より利用事業者の方へお願い

- 1: 本同意書には、引き取り品質規格書(紙製容器包装に関するもの)を添付して提出してください。なお、引き取り品質規格書にも再商品化製品利用事業者の社名・工場名の明記、押印が必要です。
- 2: 紙製容器包装の選別品質規格については、協会で行きとめた『紙製容器包装再生処理施設ガイドライン』に「資料①紙製容器包装の製紙原料等向け選別品の品質について」を定めていますので、内容をご確認ください。
- 3: 引き取り同意量には、貴社(再商品化製品利用事業者)が本書持参の再生処理事業者から平成29年度中に引き取り可能な紙製容器包装再商品化製品(製紙原料等)の量をご記入ください。この数値は、当協会が再生処理事業者の再商品化受託可能量を査定する際の重要な資料となります。なお、引き取り同意量の記入がなければ、登録はできませんので十分ご注意ください。
- 4: 再商品化製品につきまして利用状況など調査を行うことがございますがご協力をお願いいたします。

ご不明な点等につきましては、下記までお問い合わせください。

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 紙容器事業部
電話: 03-5532-8588, 8609

※ 製紙原料の利用事業者は製紙会社に限りません。『紙製容器包装再生処理施設ガイドライン』の「資料① 紙製容器包装の製紙原料等向け選別品の品質について」を再商品化製品利用事業者にご提示ください。
※ 本同意書は再商品化製品利用事業者の工場毎に作成してください。また、コピーではなく原本を送付ください。

平成29年度 紙製容器包装再商品化製品引き取り同意書(選別事業者用) (様式4-2)

(再生処理事業者名) _____ 殿

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
(必ず記入してください)

(直納事業者又は商社)

所在地 〒 _____
社名代表者 _____ 印
担当者
電話番号社名
工場名
工場所在地 〒 _____
工場責任者役職名
工場責任者 _____ 印
(再商品化製品利用事業者)担当部署
担当者
電話番号
FAX番号

当社は再生処理事業者 _____ が紙製容器包装を選別して製紙原料に再商品化し、その内容が当社の提示する品質規格を満足していることを確認の上、本同意書に記載の直納事業者(又は商社)を経由して、当該再商品化製品を引き取り、利用することに同意します。

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会より利用事業者の方へお願い

- 1: 本同意書には、引き取り品質規格書(紙製容器包装に関するもの)を添付して提出してください。なお、引き取り品質規格書にも再商品化製品利用事業者の社名・工場名の明記、押印が必要です。
- 2: 紙製容器包装の選別品品質規格については、協会で取りまとめた『紙製容器包装再生処理施設ガイドライン』に「資料①紙製容器包装の製紙原料等向け選別品の品質について」を定めていますので、内容をご確認ください。
- 3: 引き取り同意量には、貴社(再商品化製品利用事業者)が本書持参の再生処理事業者から平成27年度中に引き取り可能な紙製容器包装再商品化製品(製紙原料等)の量をご記入ください。この数値は、当協会が再生処理事業者の再商品化受託可能量を査定する際の重要な資料となります。なお、引き取り同意量の記入がなければ、登録はできませんので十分ご注意ください。
- 4: 再商品化製品につきまして利用状況など調査を行うことがございますがご協力をお願いいたします。

ご不明な点等につきましては、下記までお問い合わせください。

公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 紙容器事業部
電話: 03-5532-8588、8609

必ず全てご記入ください

引き取り同意量	_____ トン
引き取り時の荷姿の形態 引き取り可能な項目に ○を付けてください	1. 圧縮梱包品(通常古紙ペール品) 2. 特殊な形態のペール品 (小さい寸法でプラスチックバンド締め等)
引取品の銘柄 紙製容器包装を引き取る際の、 古紙の銘柄に○を付けてください	1. 紙製容器包装 2. 台紙 3. ボール 4. その他(_____)
用途例 該当する項目に○を付けてください	1. 板紙 2. 段ボール原紙 3. その他(_____)
再商品化製品利用事業者と再生処理事業者 が同一事業者、又は同一のグループ企業で 該当する項目にチェックをつけてください	<input type="checkbox"/> ある / <input type="checkbox"/> ない

※ 製紙原料の利用事業者は製紙会社に限りません。『紙製容器包装再生処理施設ガイドライン』の「資料① 紙製容器包装の製紙原料等向け選別品の品質について」を再商品化製品利用事業者にご提示ください。
※ 本同意書は再商品化製品利用事業者の工場毎に作成してください。また、コピーではなく原本を送付ください。